



美しい日本の花と出会えるところ
箱根**湿生花園**

花だより

2017
8月号

8月の見どころ

8月の湿原では、コオニユリやカワラナデシコなど、夏らしい鮮やかな色彩の花が目立つようになります。また、涼しい風の吹き抜ける林の下では、レンゲショウマの清楚な花も観察できます。7月15日から開催している「食虫植物展」では、昆虫を捕え自らの養分とする植物をご覧いただけます。



コオニユリ

「小鬼百合」(ユリ科)

北海道～九州の山地の草原に生える多年草。名の由来は、オニユリよりも小さく、花色が赤鬼を思わせるため。

観察場所：③・④・⑥・⑦・植

見ごろの花 7/24 現在



ナガボノ シロワレモコウ

「長穂の白吾赤紅」バラ科

湿地に生え、草丈が1mにもなる多年草。ワレモコウと同じ仲間ですが、白花で穂が長いのが特徴です。

観察場所：④



キキョウ

「桔梗」キキョウ科

日当たりのよい草原に生える多年草。普通花の色は紫ですが、園内では白花も見られます。

観察場所：②・⑤



ヤマユリ

「山百合」ユリ科

本州近畿以北の山地に生える日本固有のユリです。花は、ユリの仲間では一番大きく、強い香りがあります。

観察場所：①



コバギボウシ

「小葉擬宝珠」ユリ科

日当たりの良い湿地に生える多年草。名前の由来は、つぼみの形が、橋の欄干に付ける擬宝珠に似て小型のため。

観察場所：④・⑦



ヌマトラノオ

「沼虎の尾」サクラソウ科

本州～九州の湿地に生える多年草。オオトラノオと似ていますが、花穂がまっすぐ立ち上がるのが特徴です。

観察場所：③・④・⑥・⑦



カワラナデシコ

「河原撫子」ナデシコ科

本州～九州の日当たりの良い草地や河原に生える多年草。オミナエシと共に、秋の七草の1つです。

観察場所：園内各所

見ごろの花 7/24 現在

<草の花> コオニユリ キキョウ カワラナデシコ オグラセンノウ ヌマトラノオ ナガボノシロワレモコウ
イブキジャコウソウ キリンソウ イヌゴマ ソバナ ハンゲショウ ユウスゲ カライトソウ ダイコンソウ
オオダイコンソウ ギンバイソウ コウホネ ベニコウホネ ネムロコウホネ ヒツジグサ キツネノボタン
カセンソウ ミズチドリ コバギボウシ シシウド シモツケソウ チダケサシ ポンテデリア ほか
<木の花> ノリウツギ ネムノキ コムラサキ サツマハギ キンシバイ キンロバイ ハナツクバネウツギ
タマアジサイ コマツナギ イワナンテン ブットレア ほか

8月に見ごろを迎える花



キレンゲショウマ

「黄蓮華升麻」 ユキノシタ科



レンゲショウマ 「蓮華升麻」 キンボウゲ科



サワギキョウ 「沢桔梗」 キキョウ科



サギソウ

「鷺草」 ラン科



エゾリンドウ

「蝦夷竜胆」 リンドウ科



サワシロギク

「沢白菊」 キク科

<草の花> サギソウ サワギキョウ レンゲショウマ キレンゲショウマ エゾリンドウ シラヒゲソウ ワレモコウ
ミズトンボ カワラナデシコ ヒヨドリバナ ミソハギ オミナエシ ツリガネニンジン ヒメトラノオ
ハコネギク コオニユリ ジャコウソウ ヤマハハコ ほか

<木の花> ノリウツギ サツマハギ キンロバイ イワナンテン コマツナギ タマアジサイ ほか

イベント

学芸員プレミアム教室

園内を当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：8月9日(水) 時間：午前10時～正午 定員：20名

食虫植物展

ウツボカズラやハエトリグサなど、虫を食べてしまう植物を展示します。

開催日：2017年 7月15日～9月3日まで。

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL：0460-84-7293

開園時間：9時～17時（入園は16時30分まで）

入園料：大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。